

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	昨年度は広報誌「あぐり通信」を作成し、地域の公民館や小・中学校に配布した。グループホーム安暮里の広報と認知症に関する知識を地域の方々に敷衍していくことがその主な目的であった。しかし当事業所の地域貢献という意味においてはまだ道半ばの感がある。	・広報誌「あぐり通信」の配布・設置場所を増やしていく。 ・地域の皆様に認知症に関する知識を広めていき、地域への貢献とする。 ・地域の皆様から広報誌へのご意見を頂戴し、広報誌作成にフィードバックしていく。	・広報誌「あぐり通信」の作成に多くの職員が関わること。 ・小中学校において認知症に関する説明会を開催する。 ・運営推進会議において、広報誌に関するご意見を頂戴する。	12ヶ月
2	27	個別的ケアを実施するための入居者様個々の「日常生活リズム」の作成が未実施である。入居者様個々の1日の生活ぶりをでき得る限り詳細に記録し、日々更新していくことにより、個別的ケアに活用していきたい。	「日常生活リズム」を個別に作成し、入居者様個々の24時間の過ごし方を客観的に把握する。それをもとに職員全員で入居者様個々に対する適切な支援を見極め、サービス計画書に反映させ、個別的ケアの充実を図る。	・「日常生活リズム」の作成 ・「日常生活リズム」の更新 ・「F-SOAI」記録法の活用 ・パーソンセンタードケアの実践	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月